



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1639号

会 長	横澤 創	会長エレクト	岸 幸博	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	松崎正実	幹 事	入江公敏		大和中央ビル 301
会報委員会	小柳智裕	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	古郡 清	石川達男			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

Peace Through Service

「奉仕を通じて平和を」 RI会長 田中作次

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

週一度 みんなに会える 楽しみ

【本日のプログラム】 9月20日 卓話 「元気のあるアジア市場」 谷下 喬一 氏

【次回予告】 9月27日 第2回クラブ協議会「ガバナー公式訪問に備えて」 壽永純昭ガバナー補佐

【第1634例会】平成24年9月13日(木) 【司会SAA】 飯田 豊太 君

【斉唱】「君が代」「それでこそロータリー」【ソングリーダー】 富澤 克司 君

【ゲスト】牛尾多旗緒氏(元厚木基地渉外部長) 【ピジター】鈴木 正和 様(綾瀬RC)

会長の時間 横澤 創 会長

後藤会員のお嬢様 歩さんが御結婚されますので、内規に従いお祝いを贈呈いたします。



本日は前厚木基地渉外部長の牛尾多旗緒様の卓話です。牛尾さんは現在、研修と教育関連のベンチャー、(株)牛尾の代表であります。2012年2月、渉外部長の職を最後に28年間勤務した米海軍厚木基地を退職されました。

さて、昨年3月11日に東日本大震災が勃発し、その直後の大津波により壊滅的な被害をこうおりました。特に福島原発は津波による電源喪失でマルチタウンし、東日本がチェルノブイリ寸前までの危機にさらされたことは記憶に新しいことです。

同盟国である米国は、いち早く日本への救助救援を決め「オペレーショントモダチ」という作戦名で米軍を集結し行動を開始しました。その時の支援基地の一つが厚木基地でありました。米海軍は昼夜を問わずの激務を約一カ月継続し、牛尾部長は米軍と神奈川県を始め周辺市町村との調整を一手に行ったそうです。

福島原発の対応をめくり、東京電力と官邸が迷走している時のことです。そうした情報は米軍側に

も随時入ってきていましたが、当事者である日本の無責任な対応とは係わりなく、作戦命令に従い粛々と任務を遂行していました。そんな中、いつ爆発するのかわからない原発へ、自衛隊がヘリコプターで海水投入を行い、あるいは東京消防庁の決死の放水を見て、米軍の将兵の雰囲気ガラッと変わったそうです。「日本人やるじゃないか、よし、我われもアメリカの名誉と誇りにかけて任務を遂行するぞ」と。そんな話を牛尾さんから聞いた時、同じ赤い血が流れている人間同士、現場の勇氣ある行動や覚悟を見て、軍隊でさえ変わるものだと思います。

百の議論より一つの行動が人間の心を動かすものです。

その後は皆さん御存知の通り、被災直後の東北の同胞に生きるための水や食料や毛布を届け、そしてがれきを取り除き、何より彼らに生きる希望を与えて頂きました。

基地を抱える地域のロータリーとして、このたびのトモダチ作戦に厚木基地が深くかかわっていたことを是非皆様にも知っていただきたく本日の卓話となりました。今、尖閣諸島の問題を始め、近隣諸国との関係が不安定な中、改めて日米同盟の意義や重要性を認識する機会となればと思います。

牛尾様、宜しくお願い致します。

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 1名(敬称略)
40名	37名	97.37%	88.89%	7名	小柳

幹事報告 入江 公敏 幹事

- ①8/30夜間例会(会員増強)では、多数のゲストをご紹介頂き、また和やかな例会となりましたことを感謝いたします。
- ②9/9家族例会、親睦委員会の皆様ご苦勞様でした。多くの御参加を頂きありがとうございました。
- ③R財団奨学生募集要項及び申込書が届いております。

9/7実施 第6グループ会長・幹事会

- ①地区大会が10/20~21鎌倉プリンス、七里ヶ浜高校で開催されます。
- ②地区大会RI会長代理に足利東RCの板橋敏雄氏が決定しました。
- ③「新会員の集い」は来年2/15~16実施されます。入会3年未満の会員・次年度会長はご参加をお願いします。

委員会報告

お祝いの方々

出席委員会 伊藤 英夫 副委員長
皆出席30年 長野 俊八 君

親睦活動委員会 梅田 秀雄 委員長
会員誕生日 辻 彰彦 君 9月18日
配偶者誕生日 富澤 志津子 夫人 9月16日
結婚記念日 松崎 正実 君 9月15日

3分間スピーチ 阿萬 正巳

職業奉仕の観点から改めて、私の仕事、税理士としての仕事を考えますと、横澤会長のおっしゃる専門性を高め、お客様の信頼を得る、まさにその通りでございます。



個人、法人の確定申告、相続税の申告が基本の仕事です。申告書の作成、提出は、一番最後の締めの仕事ですので、そこに至るまでに個々のお客様が今必要としているものに添えていくことが重要だと考えております。

融資において日本政策金融公庫からの提唱ですが、当事務所にお客様に来て頂き、融資担当者と呼んで、融資面談を行って頂くことを考えております。

百戦錬磨のロータリーの方々は、さておき、開業間もないお客様は、融資の面談に、慣れてはいないと思われるので、少しはお役にたてるのではないかと考えております。

また、事務所内で行うことで、職員も資金調達をすることに対する意識、知識の向上につながっ

て行くのではないかと考えております。

今日はこれから、日本政策金融公庫の方々と協議会を開くことになっております。

卓話

「東日本大震災・TOMODACHI作戦」

牛尾多旗緒氏(元厚木基地渉外部長)

3月11日2時46分、47分…司令部ビル3階のフロアは大きくゆったりと揺れました。廊下ではガラスの置物が落ちて壊れ、どこからか女性の小さな悲鳴が聞こえました。やがて外へ避難するよう全員に指示が出されました。しばらくしてオフィスに戻るとテレビ・ニュースで事態が次第に明らかになってきました。巨大なガス・タンクが炎を上げています。とてつもないことが進行していました。



その日の夕方6時ごろ、司令官に呼び出されてエア・ターミナルの会議室に出向くと、すでに20人ほどの基地幹部が集まっていました。駐日ルース大使が日本国政府に援助を申し出た由。大統領令による公式作戦の始まりです。自分に与えられた最初の役割は、防災の覚書を結んだ7市に加えて相模原市と座間市に次々と電話をして、何かお困りのことはないか、我々米海軍厚木基地がお手伝いできることはないかを聞き出すことでした。すぐに海老名市から反応がありました。姉妹都市である宮城県白石市が停電と地震の被害で困っている、食料を空輸してもらえないかというものです。厚木基地司令官ガードナー大佐以下スタッフ達は、ただちに厚木在留の第5空母航空団司令官をはじめ横須賀の第7艦隊司令部や在日米海軍司令部、そして横田の在日米軍司令部と調整を開始。翌日の昼過ぎ12時50分、海老名市から持ち込まれた1,710kgのアルファ米とパンの缶詰を積んで厚木のHS-14部隊から2機のヘリが白石市の市民球場を目指して飛び立ちました。これが約2か月続いたトモダチ作戦全体を通じて最初の救援活動となりました。

「トモダチ作戦では自分の人生で最も忙しい時を過ごした。」6月の初旬、ガードナー大佐はある日本人来訪者にこう漏らしました。E-2Cホークアイの部隊司令官として空母に実戦展開した経験を持つ者の「忙しい」には一般人のそれとは少しばかり違う意味合いがあるようです。洋上の空母でリーダー達は4時間しか睡眠時間をとらないのはざら。去年、房総沖の空母ジョージ・ワシントン上で副艦長から教わりました。たった4時間の間でも艦長う

ウスマン大佐は何度か起こされ、指示を待つ部下に会うためにベッドから降りねばならないと。食事はいつも艦橋から飛行甲板を見下ろしながら。厚木基地の危機管理本部(EOC: Emergency Operation Center)は、3月11日午後9時に司令部ビル3階に移され、24時間休日無しでさまざまな縁の下の力持ちの役割を果たしてゆきます。米国本土や普天間、岩国から計500人の海兵隊が厚木に派遣されました。彼らの一部は自衛隊と共にいち早く仙台空港を復旧しましたが、ベース・キャンプとして彼らの後方支援を請け負ったのが厚木基地でした。山形空港などを往復して救援物資を運んだ輸送機C-130と海兵隊CH-46Eヘリが使う燃料、500床のベッド、食事、さまざまな機材、そしてオフィスやコンピュータの準備。海兵隊を含めた全体会議とテレビ会議は毎日4回。EOC幹部は対策本部となった会議室に缶詰。災害派遣用飛行機に駐機スペースを十分確保するため、3月16日には第5空母航空団50数機の固定翼機を嘉手納やグアムへ移動(南関東防衛局によると、近隣市でこの日計29件の厚木基地騒音苦情電話を受けたという)。放射性プルーム(雲状気体)を避けながらの航空機運用の支援等々。軍人・軍属の家族は基地内12箇所に大きなダンボール箱を置き、缶詰やインスタント食品を募りました。ちなみに厚木から空輸された救援物資は合計180万ポンド(1ポンドは454g)。これには神奈川県下21市町村から寄せられた救援物資も含まれます。海兵隊のヘリと共にHS-14とHSL-51という厚木の対潜哨戒ヘリ部隊が、SH-60Bマルチミッション機の特徴を活かし、被災地域で捜索・救難・輸送の任務を担いました。遡って3月12日の午後も、内陸の白石市からの帰路、残りの燃料は限られていましたが、海水と砂にまみれた仙台空港と若林区海岸上空を飛びました。いまだ燃え盛るガス・タンクを横に見ながら、ダイバー・スーツに身を包んだ兵士は手元に置いた放射線量計を数分おきにチェックし、ヘリの両脇から眼下を睨んで生存者がいればすぐにラベリング(降下)する態勢でいました。

震災発生後1週間ほどたったころ、福島第1原発で放水や復旧に携わる日本人達のニュースが横須賀在日海軍司令部よりTV会議で厚木基地EOCの面々に伝わると、みな様に衝撃を受けた様子でした。あらたまった口調で、ときにすこし興奮してその勇気を称えるのを何人もの同僚米人から聞きました。EOCの雰囲気が一変したのはこのあたりからです。トモダチ作戦が静かに熱を帯びていくのを感じました。作戦がたけなわの頃のある夜、筆者の知人の航空機写真家が厚木将校クラブのバー

にいたところ、海兵隊のパイロットが話しかけてきたそうです。彼は三陸の孤島の避難所へピンポイントで救援物資を届ける任務を受けました。現地へ2機が降り、手渡し作業で1機目のダンボール箱をすべて避難所に納めました。さて2機目の荷を降ろし始めると、被災者の方々が中身を見て「これはすでにうちにあるから要らない。別の避難所へ持っていってくれ」と言ったそうです。パイロットと乗員は困って、我々はここに届けるよう命令されているので(注1)、頼むから受け取ってくれと、やっと説得して荷を降ろし、飛び去ったとのこと。このパイロットは知人に「日本人はどうしてあんなに謙虚なんだ」と質問したそうです。

このたびの作戦中、よく聞いた言葉があります。“We try not to outshine JSDF. We just help them.”(我々米軍は控えめに、自衛隊より目立たないようにしている。彼らを手伝うだけなんだ。)また、ガードナー司令官は「日本のような先進国で災害救援活動に従事するのは初めてで、我々もたくさんのお話を学んだ」と言いました。こうした言葉が生まれた背景には、一身を顧みず救援・復旧に取り組んだ自衛官の方々、フクシマ・フィフティといわれた献身的に第1原発に立ち向かった日本人、そして被災したにもかかわらず終始落ち着いていた東北人があったのだと思います。

(注1) 当時、三陸沖にいた空母ロナルド・レーガン上に設置された日米共同作戦本部から被災地への救援物資空輸と捜索・救難活動が指揮されていた。

3月12日正午近く厚木基地東側エプロンにて、白石市への救援物資を積み終わったヘリの前で最終打ち合わせをするHS-14隊員達。給油地点が確保できないため、往復に必要な燃料が慎重に見積もられた。また、機内に置くための放射線量計が用意された。傍らに立つのは海老名市消防本部職員



3月12日14時9分、白石市民球場に厚木HS-14部隊ヘリコプター2機のうち最初の1機が着陸。2機目は5分後に着陸



3月12日14時10分前後に白石市民球場へ順次着陸した厚木HS-14部隊ヘリコプター2機のうちの

1機から食料を運び出す米海軍兵士と受け取る白石市消防団員。このとき応対した市職員によると、2,000人近くが火の気のない体育館等で一夜を明かし、交通が遮断されたためスーパーからはすでに食品や紙おむつ、生理用品が消えていたという



3月12日14時41分、HS-14ヘリコプター部隊の2機は白石市から厚木基地への帰路、仙台空港や海岸近くの上空を通過。残燃料の許す範囲で海軍ダイバー兵士が津波による被災地を見渡し生存者を探す。滑走路がほぼ海水と砂で覆われた仙台空港に人影はなく、1,300人が内部に取り残されていると後にニュースで知った。兵士2人は、被害のあまりの凄まじさに厚木に着くまでしばらく黙りこくっていた



3月21日、海老名市消防署にてドラム缶4本に軽油を注ぐ米海軍厚木航空施設燃料課職員。海老名市長からの要請を受けて



ガードナー司令官が指示し、計画停電と市場での軽油逼迫に苦慮していた海老名総合病院に自家発電用として米海軍厚木航空施設より無償供与された

3月15日インタビュー

第14対潜哨戒ヘリ部隊(HS14)乗務員

ザッカー・シルディアス2等下士官

地震が起きた後、最初にカミサリー(注: 基地内のスーパーマーケット)に行った。そこには人々がいくつも列を作って寄付の品々を箱に入れていた。ここではみんなが力を合わせて、(被災者を助けようと)精一杯努力している。基地としてもこうしたことを後押しして大いに働いてくれている。(ヘリ部隊乗務員としての)自分達の仕事は被災地に飛んでいき、そこで被災者が物資を実際に利用できるようにすることだ。自分はHS14で共に働く全員を誇らしく思う。ヘリが活動できる状態にするためにみんなで力を合わせている。自分達がやっていることは大きな意味を持っていると自覚している。ぼくの妻や妻の親族も我々のことを誇らしく思っている。米国本土にいる人たちもそうだ。自分達は安全に元気にやっている(と伝えてくれ)。与えられた任務を安全にだ。こうしたことを日本の国民の皆さんのためにできることをとても光栄に思う。

スマイルボックス 岸 幸博 委員長

本日 ¥17,000 累計 ¥246,450

鈴木 正和 様(綾瀬RC)

久しぶりに寄らせてもらいました。本日は宜しくお願い致します。

横澤 創 会長・入江 公敏 幹事

牛尾多旗様、鈴木正和様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話は、大変興味深い内容です。先日の家族例会は楽しく過ごしました。親睦委員会の皆様お疲れ様でした。

石川 健次 君、北砂 明彦 君、野口 宏 君、石川 達男 君

牛尾様、本日はようこそお越し頂きました。宜しくお願いします。

富澤 克司 君

牛尾さん、本日は卓話ありがとうございます。家内の誕生祝いありがとうございます。おかげ様で結婚して23年になりました。

長野 俊八 君

皆出席30年のお祝いありがとうございます。なんと30年間無事出席できました。感謝申し上げます。

辻 彰彦 君

誕生日のお祝いありがとうございます。

出席委員会 中西 功 君、伊藤 英夫 君

後藤さん「出席について」の御高配を会報に載せて頂きありがとうございます。出席の意義、よく理解出来ました。次はメイクアップの意義について御高配を賜りたいと思います。

藤田 重成 君

家族会には欠席致しました。

後藤 定毅 君

先週の家族会、梅田親睦委員長をはじめ委員の皆様、「谷町と旦那」の気分をありがとうございました。お疲れ様でした。

中島 康次郎 君

先日の移動例会に家内が初めて参加させて頂き、大いに楽しませて頂きました。今後はどうなんでしょうかね~!!

橋本 吉宣 君

先日の家族例会に参加出来ず申し訳ありませんでした。マカオに行っておりまして。お土産代わりにスマイルで勤弁して下さい。

親睦活動委委員会

先日の家族会は、皆様のご協力により無事終了することができました。ありがとうございました。